

# 研究機関名：東北大学

受付番号：	2011-600
研究課題名	小児腸管不全の治療成績に関する検討
研究期間	西暦 2012 年 4 月（倫理委員会承認後）～2017 年 3 月
対象材料	<input type="checkbox"/> 病理材料（対象臓器名 ） <input type="checkbox"/> 生検材料（対象臓器名 ） <input type="checkbox"/> 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 <input checked="" type="checkbox"/> その他（ 診療録および症例の医療情報 ）
上記材料の採取期間	西暦 1978 年 1 月～2012 年 12 月
意義、目的	<p>小児期に発症する腸管不全（短腸症候群、腸管機能不全）の中でも、静脈栄養からの離脱が困難な重症例は、肝機能障害（腸管不全関連肝機能障害）を来たしやすく、その治療は極めて困難であることが知られている。小腸移植はこのような不可逆的重症腸管不全の治療として期待されているが、日本国内における腸管不全症例数やその治療の実態は不明である。</p>
方法	<p>東北大学小児外科および連携して診療にあたっている宮城県立こども病院外科で診療した小児腸管不全（短腸症候群、腸管機能不全）54 例を対象とし、その原疾患、発症時期、残存腸管長、腸瘻、回盲弁の有無と成績（静脈栄養からの離脱、移植、死亡とその原因）について診療録などをもとに後方視的に検討、解析する。</p>
問い合わせ・苦情等の窓口	東北大学大学院医学系研究科小児外科分野 和田 基 022-717-7237